

## 総務委員会 基本方針（案）

総務室 総務委員会 委員長 松尾 玖美

1 1956年に誕生した一般社団法人佐賀青年会議所は、志を同じくする諸先輩により連  
2 綿と受けつがれてきた地域との関係性は決して途絶えることはありません。設立当初から  
3 ある総務委員会が、これまでの流れを踏襲しより良い佐賀の未来を見据えた運動を展開す  
4 るには、組織の強固な基盤づくりと円滑な運営による組織力の向上とともに、各委員会と  
5 の団結力を高め、明るい豊かな社会の実現に向かって運動を支援できる組織運営が必要で  
6 す。

7 まずは、メンバーの限られた時間の中でより有意義な会議を行うために、7・5・3シス  
8 テムを活用し、議案提出期限を遵守した事前配信の徹底を行います。そして、佐賀青年  
9 会議所がより良い運動を展開するために、確固たる組織の基盤を創り出し、定款・基本方針  
10 に則った組織運営を行います。また、各種議論をより効果的に交わすために、適切な会議  
11 資料の作成と管理を徹底し、青年会議所運動の根幹である会議の質の向上を図ります。さ  
12 らに、正確な記録を残すために、事業構築における意見と対応を明確にし、理事会におけ  
13 る議事録を作成致します。また、佐賀青年会議所の広域的な世代と交流するために、シニ  
14 ア総会への参加呼びかけを積極的に行い、相互の意識共有の機会を提供致します。そして、  
15 若者を中心に幅広い世代の方々にご参加頂くために、佐賀青年会議所が主体となり献血を  
16 行うことで、次世代にも繋がる郷土愛溢れる地域づくりに寄与致します。さらに、佐賀青  
17 年会議所が展開する委員会事業・運動がよりスムーズに行われるために、円滑な運営と対  
18 内に向けた適切な連絡と迅速な情報発信を行うことで、団結力ある組織運営を目指します。  
19 組織の基盤である総務委員会が一丸となり創る組織運営を通して、常任理事会をはじめ理  
20 事会が一体感持ち心と心が結束することにより、全メンバーのつながりはより強固なもの  
21 となり有機的な連携へと進化し、若者らしい発想とJAYCEEとしての誇りを胸に新し  
22 い時代を築きあげます。

### [事業計画]

- 25 1. 諸会議の設営・運営（通年）
- 26 2. 諸記録の整理（通年）
- 27 3. シニア総会運営・設営（1月）
- 28 4. 献血運動の推進（4月）
- 29 5. 対内への情報共有（通年）
- 30 6. 会員拡大 拡大目標 全体40名（通年）